

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-1

TEL 03-3818-2661 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします。

BCN総研 井門 由香 (いもん ゆか)

<http://www.computernews.com/>

専業主婦に高いインターネット利用 ホームページの利用目的も多様化へ

コンピュータの週刊専門紙である「BCN」(BUSINESSコンピュータニュース)を発行する株式会社コンピュータ・ニュース社(本社・東京都文京区、社長奥田喜久男)は、東名阪のパソコン大手販売会社13社(エイデン、大塚商会=αランド、グッドウィル、コンプ100満ボルト、コンプマート、CSKエレクトロニクス=T・ZONE、上新電機、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ビックパソコン館、ニノミヤ、ワンダーコーポレーション=50音順)565店舗の日々販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、BCNの市場調査部門であるBCN総研ではPCリテール市場の動向分析を行っています。

専業主婦のインターネットユーザーのうち、半数近くが月50時間以上ネットを利用している。そんな利用実態がコンピュータニュース社・BCN総研のWebアンケートで明らかになった(図1)。またホームページの利用目的も、現在中心となっている「懸賞応募」から、今後は「映像・音楽データのダウンロード」、「自分のホームページの公開」など、新しい分野へ広がりを見せ始めている(図2、図3)。

女性ユーザーを対象に、1カ月のインターネットの利用時間について聞いたところ、「50時間以上」が39.7%と最も多い結果となった。30時間以上利用している回答者は全体の62.8%で、女性の生活にインターネットが深く浸透していることが明らかとなった。とくに「専業主婦」では「50時間以上」が43.3%を占め、社会との接点としてインターネットが欠かすことのできない情報源となっていることがわかった(図1)。今回のアンケートの回答者の44.1%が「専業主婦」であったことから、利用度の高さがうかがえる。

さらにホームページの利用目的について聞いたところ、現在中心となっている「懸賞応募」(39.8%)、「お気に入りホームページのチェック」(37.1%)から、今後は「映像・音楽データのダウンロード」(15.1%)、「自分のホームページの公開」(14.8%)などに広がっていることがわかった(図2、図3)。インターネット利用に慣れることで、積極的に参加していこうとする女性の姿が浮き彫りとなっている。

女性、とくに専業主婦のネット参加意欲の高まりは、インフラの整備によってさらに加速すると見込まれる。これまで女性ユーザーの増加がPC需要拡大の底支えをしてきたが、今後はインターネットのコンテンツ利用にも女性ユーザーの動向が大きく影響すると思われる。

図1 回答者の属性別 1カ月のインターネット利用時間

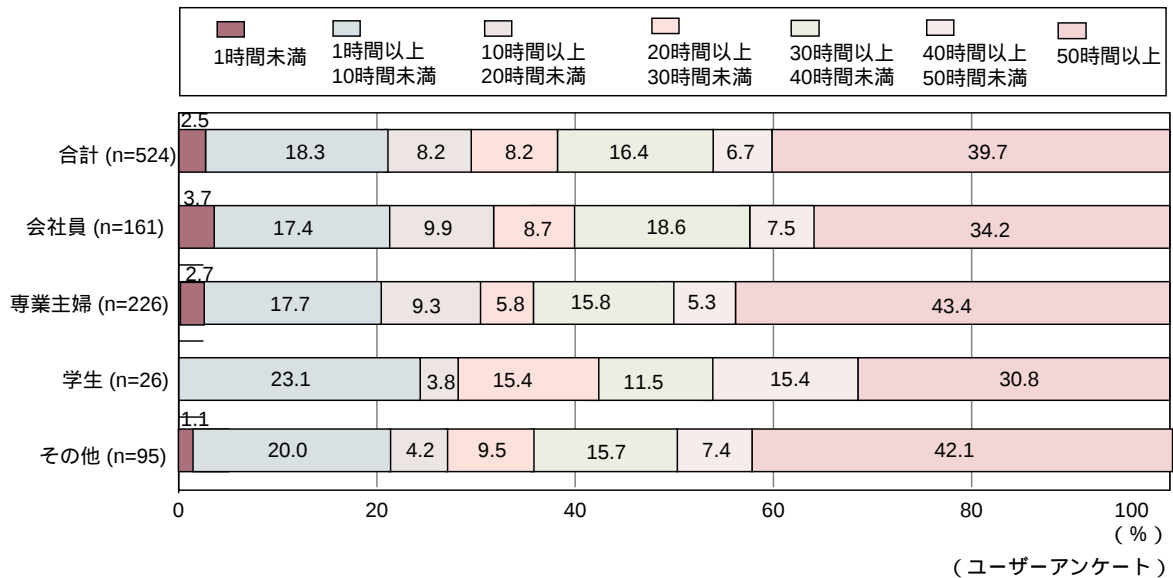


図2 現在のホームページの利用目的

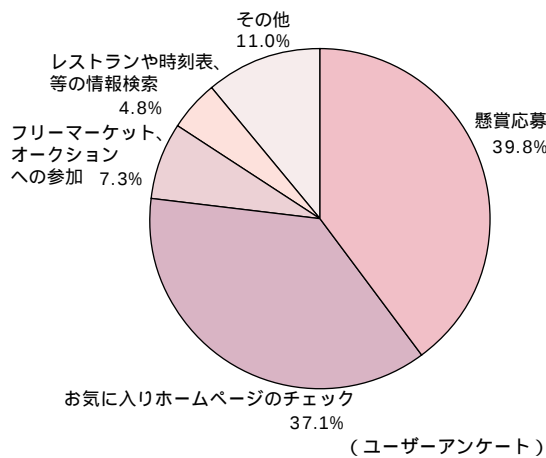
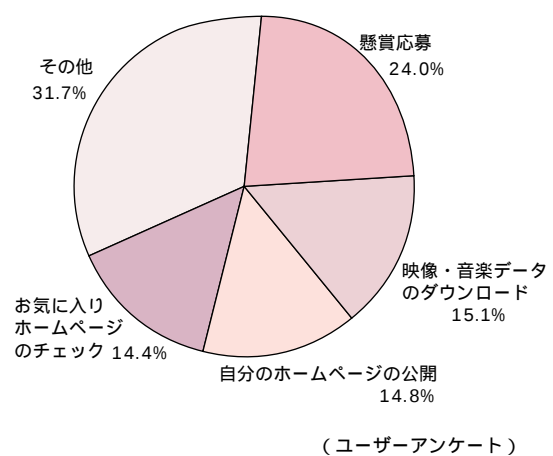


図3 今後のホームページの利用目的



調査概要

調査期間：2001年2月7日～2月13日

調査方法：弊社ホームページ（WebBCN）でのアンケート

有効回答：529件

回答者のプロフィール

結婚：既婚 66.3% 未婚 33.7%

職業：営業・販売・サービス 4.3%

教員・講師 2.1%

学生 5.3%

年齢：20歳未満 2.7%

40～50歳未満 19.8%

PC歴：1年未満 2.8%

7～9年未満 4.6%

15年以上 5.4%

事務・企画・調査職 20.1%

医師・弁護士 0.2%

無職 3.3%

20～30歳未満 27.0%

50歳以上 2.7%

1～3年未満 43.8%

9～11年未満 5.4%

技術・研究職 5.5%

自営・自由業 4.7%

その他 8.3%

30～40歳未満 47.8%

3～5年未満 21.3%

11～13年未満 1.7%

SE・プログラマー 2.1%

専業主婦 44.1%

5～7年未満 13.7%

13～15年未満 1.3%